

## 会社概要

商号 ムラキ株式会社  
英訳名 MURAKI CORPORATION  
本店所在地 〒206-0011  
東京都多摩市関戸2-24-27  
三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル 5F  
TEL 042-357-5600  
FAX 042-357-5606  
創業 1946年2月1日  
設立 1957年11月15日  
資本金 1億円  
(2024年3月期)  
従業員数 136名  
※上記のほか、臨時従業員が月平均36名おります。

## 役員 (2024年3月31日現在)

代表取締役社長 永井清美  
専務取締役 関富直彦  
取締役 柳田任俊  
取締役 北原啓詞  
取締役 芝川洋  
常勤監査役 大矢敏之  
監査役 川口幸信  
監査役 湊信明  
執行役員経理部長 加瀬光二  
執行役員総務人事部長 三橋克己

## HPのご案内



当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした最新情報をご覧いただけます。

<https://www.muraki.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで  
定時株主総会 6月中  
基準日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告掲載新聞名 日本経済新聞

### お知らせ

#### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすく読みましがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

## 第66期 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日



ムラキ株式会社

証券コード：7477

ムラキは「人が好き、車が好き」  
 ヒューマンカーライフの創造を通じ社会に貢献することを念じています  
 「既存の商品、従来の販売領域を超えた、新ビジネスに挑戦します」



《ステークホルダーへの公約》

- ▶ 顧客 安心・信頼感、価値ある商品、商品情報、サービスの提供
- ▶ パートナー 相互の情報交換と明確な機能分担による相乗効果の追求と、市場拡大による真のベストパートナーとしての共存共栄
- ▶ 株主 利益改善、事業領域拡大による公開企業としての責務完遂
- ▶ 社会 環境対策配慮とコンプライアンスの徹底
- ▶ エンドユーザー お客様の安全・快適・経済性の追求
- ▶ 社員 能力開発機会の提供、利益の共有

ムラキは、国内石油元売会社と提携し、全国のサービスステーションをお客様とする総合商社です。  
 日本のカーライフの発展・充実に大きく貢献しています。

電子提供制度適用後の株主総会資料に関する当社の当面の方針について

会社法の改正に伴い、令和4年9月1日に株主総会資料(株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類)の電子提供制度が導入されました。同制度によれば、株主様にお届けする書面は、簡易な招集通知(株主総会資料をウェブサイトに掲載したこと及びウェブサイトアドレス等を記したお知らせ)のみで足りることとなり、株主総会資料を書面で受領したい株主様は、令和4年9月以降、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社または株主名簿管理人を通じて「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要があります。

ただし当社は、株主様への情報ご提供を重視し、当面は「書面交付請求」の有無にかかわらず、従来と同様に株主総会資料や議決権行使書を書面でお届けする方針です。

なお、このような当面の対応を終了し、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただいた株主様に限り書面交付を行う際には、事前に株主様へお知らせいたします。

電子提供制度に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-533-600

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

TOP MESSAGE [トップメッセージ]

新時代に成長する企業を目指し  
 「顧客視点」の営業活動で  
 業績拡大・企業価値向上を目指します。

- ◆ 顧客視点の新営業スタイルへ刷新
- ◆ 新規事業へ果敢に挑むための組織改編
- ◆ ESG課題の推進

代表取締役社長

柳田 任俊



株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 このたびの株主総会、及びその後に開催された取締役会の決議を経て、代表取締役社長に就任いたしました柳田任俊でございます。

永井会長と共に、一層の事業規模の拡大を追求し、企業価値の向上に努めていく所存ですので、よろしく願いいたします。

さて、当社グループ第66期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 第66期概況について

当社グループのカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界におきましては、引き続き政府からの補助金により燃料価格の大幅な高騰は抑制されているものの、高止まりは継続し、原材料価格の上昇による商品の相次ぐ値上げは、ユーザーの節約志向に拍車をかけ、燃料以外であるカーケア関連商品への購買意欲は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループのSSにおけるカーケア関連商品の売上につきましては、当期より始まった『新』提案営業(顧客ごとの要望を聞き入れたカスタマイズ提案、顧客の願望を実現するストーリー営業)で奮闘したものの、主力商品のオイルエレメント・ワイパーブレード・バッテリーについては、前年を下回る結果となりました。一方で洗車関連商品は高付加価値洗車を中心に好調を維持しました。その他の商品につきましてはカスタマイズ提案が功を奏し、上記減少分をカバーできたことで売上高は前年を上回りました。快適新空間の「店頭告知看板」等は前年からは減少したものの、工具及び機器関連は年度末の駆け込み需要もあり、前年を上回りました。SS販促物であるノベルティ関連商品、環境対策商品アドブルーは引き続き好調に推移いたしました。

売上総利益につきましては、物価高の影響により前年を若干下回ったものの、仕入価格及び数量の適正なコントロールは維持しております。販売費及び一般管理費につきましては、効率営業による人員配置により人件費、その他の費用を抑え利益を確保いたしました。環境に配慮した活動及び商品の展開は今後も引き続き進めてまいります。

## 今後の見通しについて

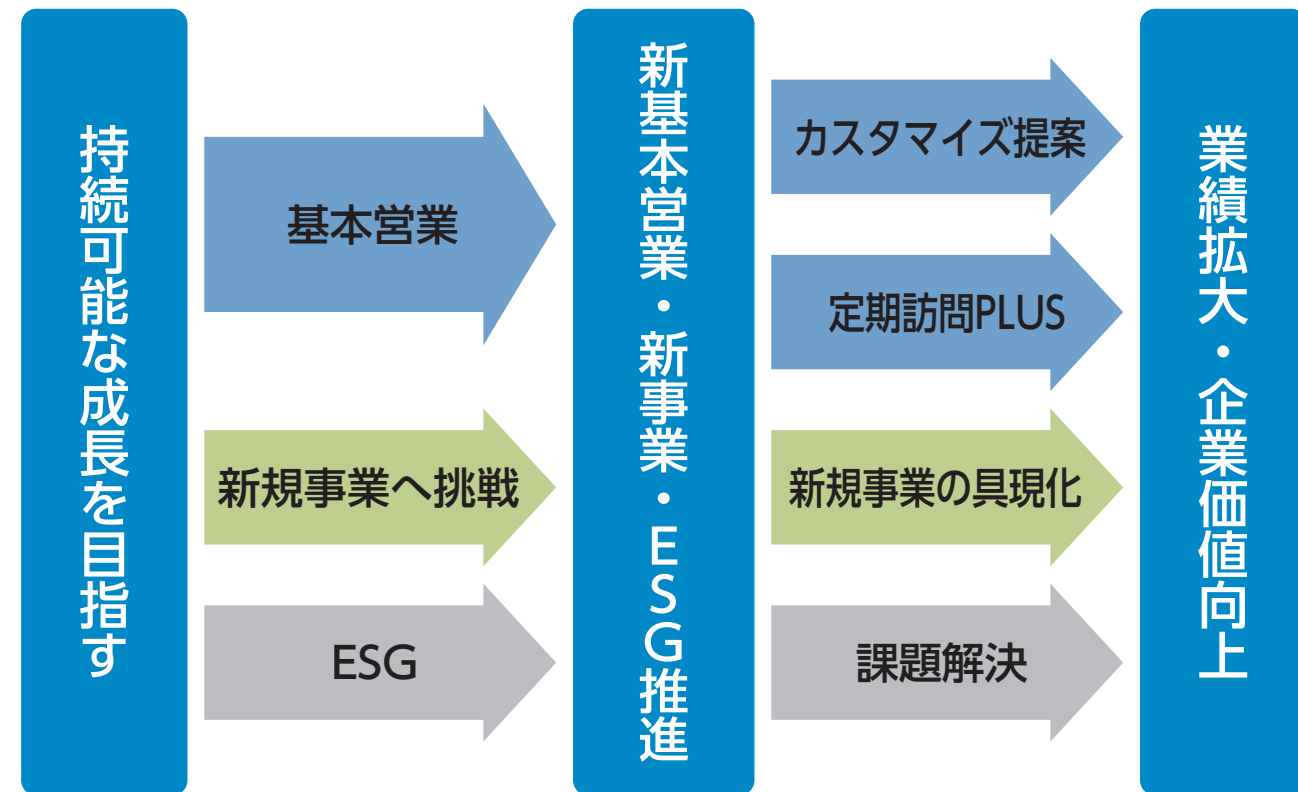
SS市場は今後も縮小傾向にあるものの、一定のユーザーは維持されるものと予測しています。SSにおいても様々な取り組みによる経営の多角化が進められております。また、同業者の廃業等も出てきており、当社が新たな顧客の紹介を受けるケースも出てきております。

このような環境の中、当社グループといたしましては、SSに対し従来からの基本営業を継続し、当社グループの強みである提案型営業をさらに推し進めることで、顧客との接点(取引)の維持・拡大を目指してまいります。また、新たな分野であるCASEやMaaS等、既存の事業にとらわれない分野への投資及び新規事業開発に取り組み、将来の中核事業とするため、基盤の強化を図ってまいります。

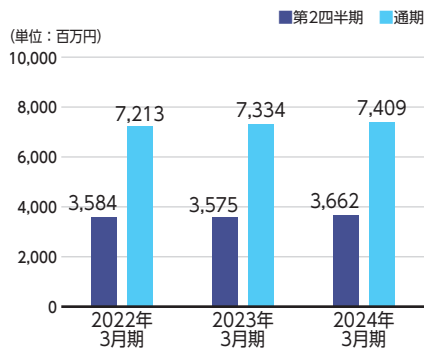
## 令和六年

# 会社方針 「インナーブランディングで組織を強化し、加速する市場変化を的確に捉え、業務の質や効率の向上を目指す」

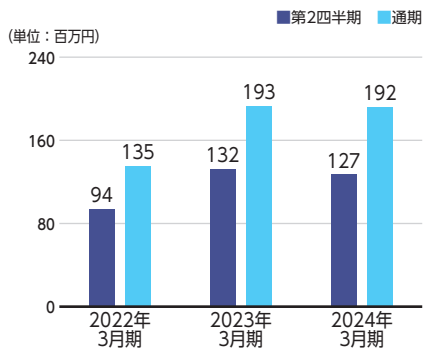
職位別社員研修会や商品勉強会を通じ会社の企業理念や企業ブランドの価値を理解してもらい社内で共有することで社員の意識と行動の変革を目指します。当社の基本戦略である顧客志向のカスタマイズ提案を展開し企業価値を高め業績向上を実現します。



売上高



営業利益



ポイント

当連結会計年度の業績は、売上高7,409百万円（前期比1.0%増）となりました。収益面につきましては、営業利益192百万円、経常利益215百万円、法人税等17百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は198百万円となりました。

■資産

資産につきましては流動資産は2,660百万円となりました。これは主に現金及び預金が104百万円減少し、受取手形が9百万円減少したこと、商品及び製品が18百万円減少したこと等によるものです。この結果、総資産は3,947百万円となりました。

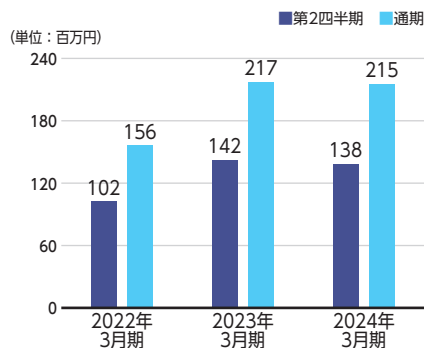
■負債

負債につきましては流動負債は988百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6百万円減少したことと、未払法人税等が3百万円減少したこと及び1年内返済予定の長期借入金が61百万円減少したこと等によるものです。この結果、負債合計は1,309百万円となりました。

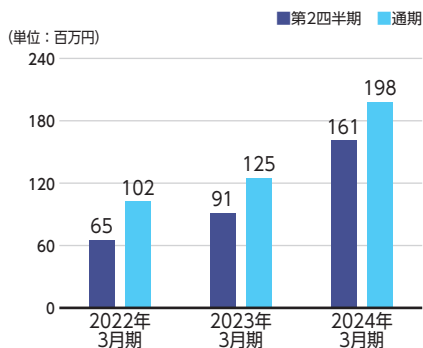
■純資産

純資産につきましては純資産合計は2,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が169百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は66.8%となりました。

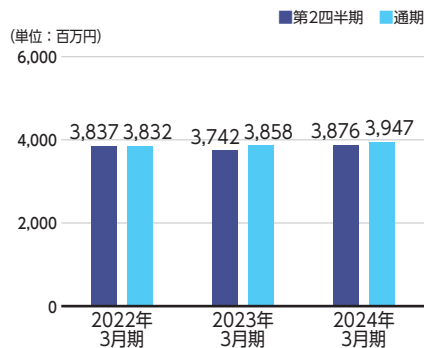
経常利益



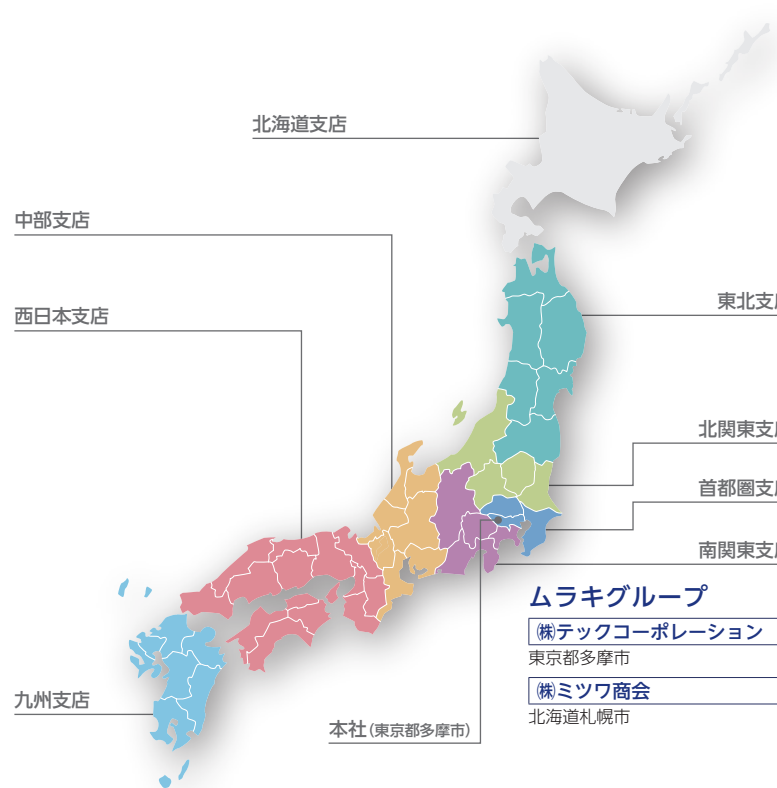
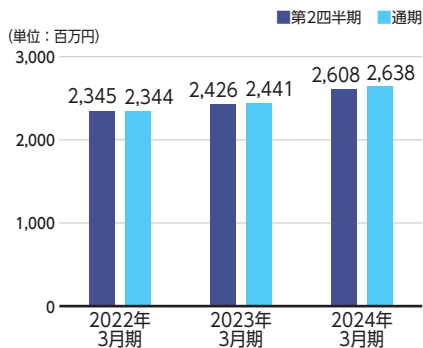
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産



純資産



- 北海道支店**
- 東北支店**  
青森出張所  
八戸出張所  
盛岡営業所  
仙台営業所  
山形出張所  
郡山営業所
- 北関東支店**  
水戸営業所  
土浦出張所  
宇都宮営業所  
高崎営業所  
新潟営業所
- 首都圏支店**  
川口営業所  
松戸出張所  
川越営業所  
市原営業所  
千葉出張所  
東京営業所
- 南関東支店**  
横浜営業所  
小田原出張所  
静岡営業所  
沼津出張所  
浜松営業所  
甲府営業所
- 中部支店**  
名古屋営業所  
小牧出張所  
津営業所  
富山営業所  
金沢営業所
- 西日本支店**  
大阪営業所  
姫路駐在所  
広島営業所  
岡山駐在所  
高松営業所  
松山出張所
- 九州支店**  
福岡営業所  
熊本駐在所  
長崎駐在所  
北九州駐在所  
鹿児島営業所
- 物流センター**  
関東物流センター  
(埼玉県児玉郡)

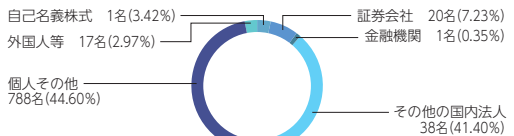
大株主

株主名	当社への出資状況 持株数
芙蓉土地建物株式会社	250,000 株
有限会社ドリーム・ワークス	180,000
村木ミチ	112,300
ムラキ社員持株会	93,448
ムラキ取引先持株会	88,600
株式会社SBI証券	50,805
三宿基地株式会社	50,100
エイケン工業株式会社	46,000
ムラキ役員持株会	41,751
中西祐介	29,500

株式の状況

発行可能株式総数..... 5,000,000株  
 発行済株式総数..... 1,470,000株  
 株主数..... 865名(前期末比323名増)  
 ※当社は、株式併合に伴い2017年10月1日付をもって、発行可能株式総数5,000,000株、発行済株式総数1,470,000株に変更しております。

所有者別株式分布状況



※ ( ) は株式数比率